

誓いの言葉

米沢の厳しい冬も終わりを迎え、春の陽気を感じられるようになってきた今日、米沢市新規採用職員として辞令交付式に参加させていただき、大変光栄に思います。これから始まる新生活への期待が高まると同時に、社会人としての自覚と責任で身が引き締まる思いです。

私は高校時代まで米沢市で過ごし、他県の大学への進学を機に一度離れました。大学時代は地域づくりについて多角的に学び、大学周辺の地域をフィールドとして、地域住民と協働してプロジェクトを行う等実践的な学習を通して、地域創生に対する知識や教養を身につけることに励みました。学びを深めていく中で、地域づくりに対して次第に興味が湧き、地域コミュニティの課題解決や、地域資源の発信に取り組んできた経験を地元のために活かすことを決意しました。

自然が豊かでゆったりとした時間が流れる城下町の風景や、上杉家にまつわる歴史など、地域資源が豊かな米沢市は魅力的な地域です。その一方で様々な課題を抱えているという面もあります。人口減少と少子高齢化の深刻化に加え、コロナ禍や不安定な世界情勢が市民の生活や地域経済に様々な影響をもたらしています。社会環境や人々のライフスタイルの変化、価値観の多様化が顕著になり複雑化した社会の中で、あらゆる世代の市民が安心して暮らすことができる地域づくりや、時代に即した柔軟なサービスを求める声に応えるという使命感を抱いております。市の課題に粘り強く向き合い、時には市民と協働しながら、「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢」の実現に向けて尽力してまいります。

最後になりますが、これまで支えてくださった皆様とこれから私たちを職員として迎えてくださる皆様への感謝を胸に、初心を忘れることなく一日も早く、一人前の職員として、市民の皆様のお力になれるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和五年四月三日

新規採用職員代表 友田 彩音